

WPD 水の惑星が生んだツーリズム

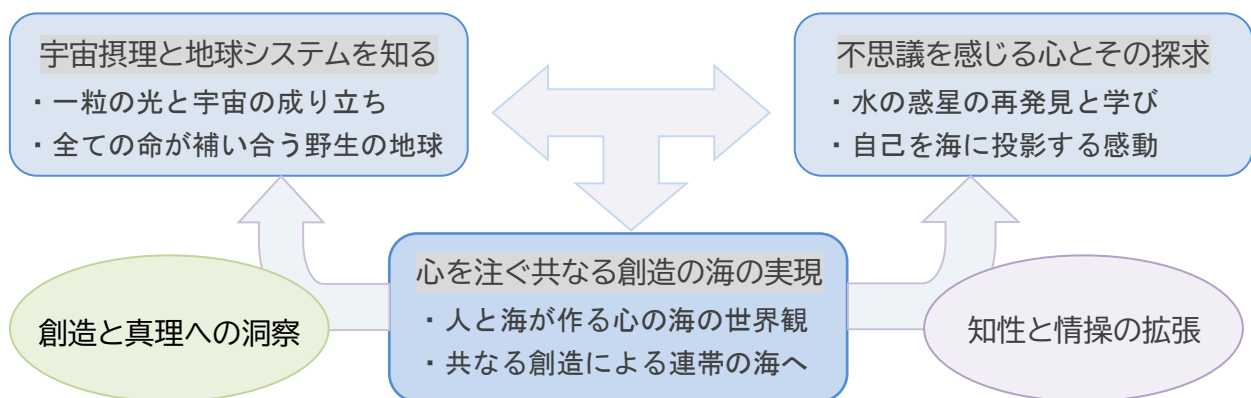
■私共アクアノート・クロスリンク は、水の惑星・地球の海を宇宙的視座から見つめ、この星の海洋が全ての生き物の命の繋がりシステムに支えられている事に気付きました。この命の海のシステムには“宇宙の全体性と太陽と月の働き”が欠かせない事、千数百年をかけて深海の酸素を循環させる「深層大海流／酸素のコンベアベルト」が地球生物圏の守護神のような働きをしている事、そして大気圏に影響を与える夫々の海流が太陽のエネルギーを得て世界の気象を司っている事などから、私達には、宇宙の摂理に支えられた海と森が、地球に生きる全ての生物を生かす愛と意志を持った 超個体の生命体の様に見えてきました。

■そしてこの生命体の様な海洋には不思議なことに、クジラという大型の海洋生物が現在でも百数十万頭(過去には数百万頭のクジラ)が存在し、その深海での捕食と海面での呼吸と排泄を繰り返しながら、地球上の二酸化炭素／Co2 の 3 分の 1 を吸収する海の植物プランクトン増殖の為に栄養源を供給しつつ、彼らは毎年南北の極致周辺の海から大移動し、海洋の「栄養素のコンベアベルト」の役割を果たしています。

The Sense of Wonder／不思議を感じる心

私達はこれ迄のように海を「資源としての生物学的そして物理学的視点」から向き合うのではなく、人間の心の視点から向き合う必要があると感じて来ました。何故なら宇宙的視座から水の惑星を見つめた時、その海と人間界とが一つのフィードバック・グループを構成している事が理解されたからであり、それは“海と全ての生物が運命共同体”であると言う認識が、心の世界への問いかけである事に気付いたからです。そこから私達は、心のレベルで海と繋がる必要性があり、その為に“私達の人生は夢の実現の為にあり、そしてその実現の場が生物多様性の海である事の素晴らしさを知る”に至りました。それは私達がこの水の惑星の海が「心を注ぐ共なる創造の海」として向き合う事により、我々人類の“知性と感性が拡張される”即ち「心の進化」という事実気付いた事によります。

21 世紀の教養と情緒の獲得への旅



ホモサピエンスと気候変動 EHLAJ : Evolution of Humanity by Liberal Arts Journey.

「リベラルアーツ・ジャーニーによる人間性の進化が地球生命体を救う」と云う文化事業を目的とする。

■200 万年の人類史の中で我々ホモサピエンスだけが、「そうだね、そうだね」と協力の心を拡張させて、20 万年の荒ぶる地球の気候変動を乗り越えてきました。私達は、今回の気候変動は 19 世紀以降の人類の活動が招いたもの故に、私達が“協力の心を進化／拡張”させれば解決できる問題であり又、海の野生の回復力が確認された現在、私達は「未来の地球への希望」を告知する文化事業を目指す事と致しました。

リベラルアーツ・ジャーニーと水の惑星・物語ツーリズム&ゲーム

■〈心の自由を獲得する七学と呼ばれるリベラルアーツ〉のツーリズム事業として誕生した「水の惑星・物語ツーリズム&ゲーム」は、水惑星の海の再生を目指す物語の主人公を体現する人生の旅で、スマホやパソコンでの映像体験（海の映像と 360 度海中ゲーム体験）から始まり、旅の目的地での海洋環境体験や、自分自身の物語を創る体験をクロスリンクさせるゲームによる“自己実現を目指すツーリズム”です。

■このツーリズムの構成は、三種の体験空間（DNA:映像空間／ AMP:海の空間／ TON:物語空間）における複合的な体験が、参加者の〈新たな地球と自分の発見〉に繋がる様に、夫々の空間での簡略なゲーム体験が用意されています。この連携ゲームの目的は、年齢・経験・体力など、それぞれ異なる立場の全ての方々に参加可能な様に〈物語・映像・海〉の夫々の空間においてゲームで繋がりあう事を可能と致しました。

